

第12回日本皮膚科心身医学会

イブニングセミナー

抗癌剤脱毛と心身医学

ー産学連携が切り拓く抗癌剤脱毛予防法の開発ー

開催日時 2022年1月15日(土) 17:20~18:20

会場 ソニックシティ 市民ホール (401)

当セミナーはハイブリッド開催となります。

参加方法や詳しい情報につきましては、本会 HP <http://jpsd12.umin.jp/> をご確認ください。

座長

はしろクリニック 院長
日本皮膚科心身医学会理事長

羽白 誠 先生

演者

大分大学医学部
消化器・小児外科学講座 教授

猪股 雅史 先生

司 会



演 者

大分大学医学部
消化器・小児外科学講座 教授

猪股 雅史 先生

▶ 演題名：抗癌剤脱毛と心身医学 ー産学連携が切り拓く抗癌剤脱毛予防法の開発ー

【はじめに】 癌に対する手術や抗癌剤治療、放射線治療によって生じる脱毛や皮膚炎などの外見変化は癌患者の精神面やQOLへの影響が大きい。特に抗癌剤による脱毛は、高頻度に発症する副作用であるが、いまだ十分な予防法がない。今回、産学連携プロジェクトとして、抗癌剤脱毛予防法の開発に取り組んでおり、その成果と今後の課題を紹介する。

【抗癌剤脱毛メカニズムの基礎研究】 (1)抗癌剤誘発脱毛動物モデルの毛包周囲環境変化を病理組織学的に検討し、毛包周囲の血管透過性亢進が抗癌剤脱毛病態の一要素であることを明らかにした (Cancer Science 2020)。(2)抗酸化物質である1% α リポ酸誘導体により脱毛が抑制され、病理組織学的検討において炎症細胞浸潤および毛根・毛幹の破壊の軽減を明らかにした (Surgery Today 2011)。

【抗癌剤脱毛予防の臨床研究】 乳癌患者100名を対象とした多施設共同臨床試験を行い、 α リポ酸誘導体含有ローション頭皮塗布にて、脱毛期間が短縮する効果を明らかにした (Breast Cancer Research and Treatment, 2019)。

【抗癌剤脱毛予防剤の開発】 毛髪関連のリーディングカンパニーとの産学連携共同プロジェクトを経て、抗癌剤脱毛研究に基づく α リポ酸誘導体含有スカルプローションを2018年に上市した。

【今後の展望】 抗癌剤脱毛予防効果の向上のため、スカルプローションの他の癌種への適応拡大や、頭皮冷却との併用など、さらなる研究が進んでいる。がん患者の外見問題に対するニーズは大きく変化しており、抗癌剤脱毛と心身医学のさらなる発展が期待される。

略 歴 等

【医師免許等】

1988年取得

【職 歴】

1988年 3月 大分医科大学医学部卒業

1988年 6月 大分医科大学医学部附属病院外科第一
(研修医)

1990年 4月 国立病院九州がんセンター 乳腺科

1994年 5月 国立がんセンター研究所 病理部

1997年 3月 大分医科大学大学院博士課程修了

2003年 4月 大分大学医学部総合外科学第一 講師

2010年 4月 同 准教授

2014年10月 大分大学医学部消化器・小児外科学講座 教授

2020年 4月 同 附属病院副院長、
卒後臨床研修センター長兼任

【主な学会活動】

日本外科学会：指導医・専門医・代議員

日本消化器外科学会：指導医・専門医・評議員・理事

日本癌治療学会：評議員

米国臨床腫瘍学会 (ASCO)

【主な受賞歴】

2011年 OOTR、Best Presentation Award (香港)

2012年 日本臨床毛髪学会、平山賞受賞 (東京)

2014年 世界内視鏡外科学会、Best Presentation Award
(パリ)

2015年 JCOG下山賞受賞 (東京)

【特 許】

がん化学療法誘発脱毛に対する抗脱毛用組成物：公開番号

2012-62283

粘膜挙上剤：公開番号2014-188054

人工知能搭載内視鏡システム：出願番号2018-044121

【モットー】

すべては目の前の患者と未来の医療のために！

【好きな言葉】

ピンチはチャンス！ チャンスはさらにチャンス！

【趣味】

温泉マイスター 田舎道のドライブ

Aderans